



よこすか市議会だより

No.57

令和7年(2025年)
7月22日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会局議事課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



広報広聴会議とスポーツ振興検討協議会の合同にて、
スポーツ振興に関する意見交換会を開催しました
(3面に関連記事を掲載)



さらに広がる！

議会と市民の対話！

令和7年招集議会

5月12日に招集議会を開催し、正副議長をはじめとする議会内役職の選出、議会運営委員や各常任委員の選任等を行いました。

(議長挨拶等を4面に掲載)

6月定例議会

5月30日から6月13日までの15日間の期間で6月定例議会を開催しました。11人の議員が2日間にわたり一般質問を行いました。

(質問項目を3面に掲載)

今回の定例議会では、令和7年度横須賀市の一般会計予算を約8億8千万円増額する補正予算について審議しました。主な内容は、横須賀市ゼロカーボンシティ推進パートナーに係る経費や、市立学校体育館への空調設備整備に要する経費等です。全12件の議案について各常任委員会・分科会で審査を行い、本会議で討論の後、採決の結果、全ての議案を可決しました。また、請願2件、陳情4件の審査を各常任委員会で行いました。このほか、地方財政の充実・強化を求める意見書等を国に提出しました。

さらに令和5年10月から特別委員会で行ってきた議会基本条例の検証について最終審査報告があり、結果を踏まえ、同条例の一部改正が提案され、全会一致で可決しました。また、最終日には追加議案として、定額減税を補足する給付金に関連する補正予算が提出され、所管の委員会で審査、本会議で採決の結果、可決しました。今後とも横須賀市議会は情勢の変化に対応した必要な対策が迅速にとれるようスピード感をもって取り組んでまいります。

(審議結果を4面に掲載)

横須賀市ゼロカーボンシティ推進パートナーについて審査

本市では「ゼロカーボンシティよこすか2050アクションプラン」に基づき、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロの実現を目指しています。しかし、民生家庭部門の二酸化炭素排出量が増加していることから、家庭用太陽光パネルの設置補助を開始するなど、削減に向けた取組を進めています。さらなる推進には、省エネや食品ロス削減など市民のライフスタイルの見直しを促す啓発が重要です。そのため、より市民に身近な立場で活動する企業・団体を推進パートナーとして選定し、その活動に必要な経費が補正予算議案として提出されました。委員会ではその内容について審査しました。

主な質疑

問 民生家庭部門の脱炭素において、イベントの開催やSNSでの情報発信だけではなく、日常生活での具体的な取組の推進が重要ではないか。

答 民生家庭部門の二酸化炭素排出量は令和4年度比で半減が目標である。これは1世帯あたり年間200kg削減が必要だが、家庭でできる具体的な取組としては例えばシャワー時間を短縮、節水型ヘッダの使用、テレビの視聴時間削減などがあげられる。市と推進パートナーと連携して広報・啓発を進めたい。

問 行動変容を促すには習慣の変化が必要であり難しい。どれほどの成果を期待し、KPI(※)はどのように設定しているか。

答 太陽光パネル設置の補助執行率をKPIの一つとしている。

問 推進パートナーの報酬(月額10万円)に対する成果を明確にすべきでは。執行率だけでなく、事業単体での目標が必要ではないか。

答 執行率は二酸化炭素削減への中間指標であり、

この執行率を上げることが推進パートナーと進めていきたいことの1つである。市民の意識や行動変容もアンケート等で把握し、評価していく。

問 未来を担う若者や子どもたちへの周知・啓発が大変重要であると考えている。SDGsに関心が高い世代であるため、推進パートナーにも学校へ赴いて啓発活動を行ってもらいたいと考えている。

問 啓発活動計画を改めて考える必要があるのでは。二酸化炭素排出量実質ゼロの実現の幹になる啓発の仕方を変えて検討したい。

令和4年度横須賀市のCO₂排出量 部門別割合(推移)

単位:千トン

部門	令和3年度	令和4年度	増減	
産業部門 (製造、農林水産業など)	550	494	▲56	▲10.2%
民生家庭部門 (一般家庭)	394	425	31	7.9%
民生業務部門 (ホテル・サービス業など)	467	461	▲6	▲1.3%
運輸部門 (輸送、運輸など)	405	419	14	3.5%

さらに「市民」の行動変容を促進する必要がある

市立学校体育館への 空調設備整備について審査

市立学校体育館への空調設備整備について、公郷中学校と久里浜中学校の2校を対象に、前倒しで着手するための補正予算議案が提出されました。災害時に避難所として体育館を利用する際にも空調設備が使用できるよう、LPガスによる非常用発電機も併せて整備することとしています。整備のための工事の完了時期は令和8年度を予定しており、委員会で幅広く質疑がなされました。

主な質疑

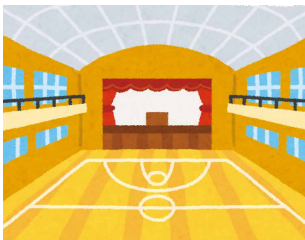
問 前倒しで着手する学校として公郷中学校と久里浜中学校を選定した理由は。

答 学校の生徒数、学校体育館の構造及び周辺の空きスペースなどを考慮し選定した。

問 整備する空調設備の耐用年数は。

答 10年から15年を想定している。

問 今後、学校体育館への空調設備整備を全市展開した場合、一度に多くの体育館の空調設備が耐用年数を迎えないよう計画



的に整備していく必要があると考えるがいかがか。

答 諸条件等を勘案しながら対応していく。まずは前倒しで導入することを優先した。

問 選定した学校体育館の断熱性や開口部の構造はどのような状況か。

答 外気断熱性はあまり確保できていないが、熱中症のリスクを下げることを優先している。

問 学校体育館周辺に空きスペースが有ることを空調設備整備の選定条件とした理由は。

答 非常時の発電の際に使用するLPガスの保管スペースが必要であるため、財源を臨時特例交付金から地方債に切り替えた理由は。

答 臨時特例交付金は年度内に整備が完了しないと交付されないため、地方債へ切り替えた。

問 空調設備のランニングコストは。

答 点検や消耗品の費用は別で、年額100万円から150万円程度を見込んでいる。

問 空調設備が整備された学校体育館を一般に貸し出した場合の料金徴収について検討してほしい。

答 今後の検討課題とする。

問 今後も諸条件が適合すれば学校体育館への空調設備整備は全市展開する予定か。

答 その予定である。

ごみ収集車の買入れについて審査

8年間から10年間使用したごみ収集車は、経年劣化により安全で効率的な収集作業に支障をきたす恐れがあることから、更新基準年数を原則8年とする「ごみ収集車更新計画」に基づき車両3台



ごみ収集車(イメージ)

を更新するための議案が提出されました。委員会ではその内容について質疑がなされました。

主な質疑

問 納車の時期は。

答 令和9年の2月から3月になる予定である。

問 納車されるまでの間、更新対象車をメンテナンスしながら引き続き使用する見込みか。

答 整備工場でしっかりとメンテナンスをしながら使っていく。

夏季休業児童 一時預かり事業について審査

夏季休業期間中の小学生の預け先の拡充について、令和7年1月に放課後子ども教室の利用者に対し、横須賀市がアンケートを実施したところ、保護者の就労日数や就労時間の関係で放課後児童クラブを利用していない世帯などにおけるニーズが高いことがわかりました。

そこで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉向上を図るため、留守家庭児童を対象とした夏季休業期間の一時預かり事業に関する補正予算議案が提出され、委員会が審査を行いました。

主な質疑

問 保護者の送迎は必須か。

答 必須ではない。

上町地区浸水対策事業について審査

上町地区では、平成29年と令和3年に下水道の計画降雨量(60ミリ/時)を超える降雨により、浸水が発生しました。その対策として、浸水の解消を図るための費用の一部(旧横須賀税務署跡地の建物の解体工事費を算出するための設計業務委託料及び用地取得に係る不動産鑑定評価手数料)についての補正予算議案が提出され、委員会において審査を行いました。



シールド工法のための発進立坑(イメージ)

上下水道局では、次の①②③の3つの雨水管を新たに布設することを計画しています。

① 中里トンネル入口交差点付近から、旧横須賀税務署前の県道26号(二崎街道)を経由し、聖徳寺坂を下って、安浦2丁目公園付近で既設の雨水管に接続する雨水管

② 旧つわまち病院前から、①の新設する雨水管へ接続する雨水管

③ 上町歩道橋付近から、県道26号を通り、鶴久保小学校前交差点付近で既設の雨水管に接続する雨水管

主な質疑

問 シールド工法以外の工事工法は検討したのか。

答 様々な工法を検討した

員については、どのような方を想定しているのか。

答 放課後子ども教室や青少年会館の職員等が勤務が可能な方を想定している。

問 放課後子ども教室の職員と放課後児童クラブの支援員とは求められている対応に開きがあると思うが、そのギャップを埋める手立ては考えているか。

答 事前の研修等を考えている。また、利用者側にもその違いを周知する。

問 昼食はどうするのか。

答 対象になる。

結果、施工場所は、交通量が多く、埋設物も多いため、交通規制が最小限で、騒音や振動も少なく、他の工法と比較して最も安価となるシールド工法を採用した。

問 横須賀税務署跡地について、国から無償譲渡等で取得できるような動きはないのか。

答 無償で取得できれば一番良いが、国の方針として、公共的な使用であつてもまずは売却するという考え方で、処分がなされているため、ルールに従った中での取得を目指していく。

問 同跡地の取得に関しては、建物解体が必要となり、相当な費用が見込まれる。不動産鑑定評価額とも関係してくると思うが、どう考えているか。

答 同跡地の取得に関しては、建物解体が必要となり、相当な費用が見込まれる。不動産鑑定評価額とも関係してくると思うが、どう考えているか。

答 家庭から持参していた。子どもがおやつとの交換をするケースもある。アレルギーマスターの対策はどのようにするのか。

答 事前に食べ物の交換は行わないよう案内し、注意喚起する。

問 事業実施まで短いスケジュールだが、教育委員会との連携も含めどのように周知を行っているのか。

答 市ホームページや市公式LINEで子育て世代向けに周知する。申込み期間後、もし空きがあれば



シールド管の中(イメージ)

問 事前調査で現状の建物にはアスベストの存在が確認されている。この情報を国と共有しながら交渉を進めていく。

問 旧つわまち病院前の道路拡幅のため用地買収を進めているところだが、この工事の影響はあるか。

答 担当部局と連携して進めている。用地取得に伴い、令和8年度から工事に着手する予定である。

問 この事業で想定する計画降雨量の詳細は。

答 確率降雨強度の10年確率を66・4ミリ/時に見直し、設計を進めている。

問 夏休みの予定が募集時には分からない場合もある。保護者の急病など、急なニーズにはどの程度対応できそうか。

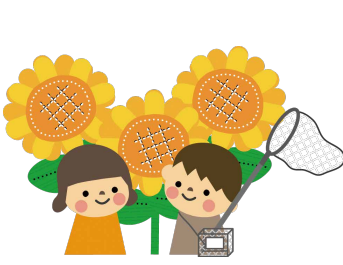
答 安全管理の面も含めて、数日前には利用申込みはいただきたい。そのため当日利用は難しいと考える。

問 利用料についてキャッシュレスでの支払いは検討しているか。

答 今年度については検討していない。

問 今回の実施は試行ではなく本実施であり、来年度以降も少なくとも今回の実施箇所数や利用定員の基準は下回らずに拡大を目指していくのか。

答 アンケート結果からニーズが高い事業と考えているため、基本的には拡充していく予定である。



スポーツ振興に関する意見交換会を開催

横須賀市議会は令和5年12月に、スポーツ振興検討協議会を設置しました。この協議会では、全ての市民がスポーツを通じて健康で心豊かな生活を送ること、スポーツが地域の活性化に貢献できることなどを目的とした条例づくりを目指して検討を行っています。条例の検討にあたり、市民の方から幅広く意見をいただくため、さる4月19日に「スポーツ振興に関する意見交換会」を開催しました。(1面に関連写真を掲載)

意見交換会は、3部構成で行われ、第1部では本市議会と包括的パートナーシップ協定を締結している関東学院大学の奈良堂史経営学部准教授から「スポーツによるまちづくりの進め方と要点」というテーマでご講演をいただき、第2部ではスポーツ振興検討協議会委員長から条例案の説明、第3部ではグループに分かれて参加者の方と意見交換を行いました。

具体的な意見として、「横須賀独自の要素を加えるべき」、「人材の確保が必要」などがありました。また、開催後のアンケートでは、「定期的に開催してもらいたい」、「講演を聴いて大変勉強になった」などの声がありました。現在、いただいたご意見を踏まえて検討を行っており、今年度中の条例制定を目指しています。

スポーツ振興に関する意見交換会実施報告書はこちら



現在の(仮)横須賀市スポーツ振興条例(案)全体像

前文	推進計画
前文	第7条 スポーツ推進計画
総則	基本的施策
第1条 目的	第8条 生涯にわたるスポーツ活動の推進
第2条 定義	第9条 障害者スポーツの推進
第3条 基本理念	第10条 スポーツにおける健全性等の向上
第4条 市の責務	第11条 子どものスポーツ機会の充実
第5条 市民の役割	第12条 スポーツへの関心の醸成
第6条 スポーツ関係団体の役割	第13条 自然環境を活用したスポーツの普及
	第14条 スポーツによる地域振興

議会基本条例の検証報告

横須賀市議会は平成22年に制定した議会基本条例の見直しを行うために検証特別委員会を立ち上げ、1年8ヶ月にわたって審査を行ってきました。全16回の審査では、条文ごとに現状とそれに対する評価、見直すべき点を整理するなど、丁寧に議論を重ねてきました。また、包括的パートナーシップ協定を締結している関東学院大学の出石稔法学部長(教授)と牧瀬稔教授に外部評価を依頼し、議会内部だけでは気づきにくい点について貴重なご意見や示唆をいただきました。

結論として、本委員会での検討結果を踏まえ、全34条中12条において条例改正を行いました。また、以下の3点について運用改善の必要があるとして、今後、本市議会で検討を行う予定です。

- ① 請願及び陳情に関する周知及び意見陳述の在り方について
- ② 議決事件の追加について
- ③ 議会基本条例の継続的な検証について

議会基本条例は本市議会の最高規範的位置づけにあり、本市議会が目指すべき姿を示すものです。今後も市民の皆さまのお声を大切にしながら、各条文の趣旨や意図するところを念頭に本市議会として不断の努力を重ねてまいります。

議会基本条例とその検証結果の詳細はこちら



議会基本条例検証特別委員会

6月定例議会 一般質問

発言通告の全文はこちら→



よこすか未来会議 高橋英昭	① これからのFM戦略プランについて ② 移住者政策について ③ ベンチのあるまちづくりについて
自由民主党 大貫次郎	① 市政運営の成果があまり認知されていないことについて ② 児童図書館建て直し等のこれからの取組について ③ 新たな取組を進める上での財源について ④ 教育改革について
自由民主党 泉谷 翔	① 長年の課題だった本市の人口減少と今後の展望について ② 定住施策としての総合学生寮の整備について ③ 本市におけるDXの未来について ④ 福祉分野における生成AIの活用について
自由民主党 松岡和行	① 福祉施策のための経済施策について ② 中小企業支援の重要性について ③ 財源の獲得と職員に与える影響について ④ 三浦半島4市1町による広域連携について
天白牧夫	① 自然環境の再生と民官連携の促進について ② 自然環境関連事業に従事する職員の専門性について ③ 枯死した樹林での森林火災の可能性及び対策について ④ 人獣共通感染症に係る各部局の進捗状況について
日本共産党 大村洋子	① かがみ田苑は手厚い「人員配置体制加算1」を目標に ② 日産追浜工場、地域への影響を最小限に食い止めよ ③ 正当な市民デモへの威嚇的な米兵の銃携行に中止要請を ④ 米兵の交通死亡事故続発。実効性ある日米の安全協力を
よこすか未来会議 長谷川昇	① 新たに創設した副教育長の職務と職責について ② 組織改正による教職員が子どもと向き合う時間の確保 ③ 部活動指導者確保と育成について ④ スポーツ環境の積極的な整備について
葉山なおし	① 人口減少社会における労働力不足の解消について ② 災害対策の重要性について ③ 浦賀駅前周辺地区活性化事業について
公明党 菅原恵美子	① 空き家問題とその対策について ② ケアマネジャーへの支援として、特定一般教育訓練給付金制度を周知徹底することについて ③ 更年期障害に対する取組について
日本維新の会 安川健人	① 移住・定住促進について ② 万代会館の今後について ③ 長坂緑地の整備・促進について ④ エンターテインメントの重要性について
日本共産党 井坂 直	① 市は様々な形で生理用品の無償提供を行っているが、図書館等の施設にも設置を。生理への理解を深める取組を ② 横須賀中央駅前など新たなまちづくりを進める際、本市の人口動向や特質性、地域事情を考慮する必要性は

横須賀市議会公式 X は下の二次元コードから！



7月30日から好評の市議会議員紹介シリーズを開始予定です！

令和7年招集議会

招集議会では、新しい正副議長のほか議会内役職者の選出と議会運営委員や各常任委員の選任を行いました。

議長挨拶

私たち市議会は、二元代表制の一翼を担い、市民生活の向上を目指して行政の方針や施策に対してチェック機能を発揮し、必要な改善を提案する役割が求められます。さらに、市政が直面する多様な課題に対応するには、議員一人ひとりの課題解決に向けた主体的な取組を通して政策提案能力を高め、議会全体のレベルアップを図ることがますます重要となっています。

市民の皆様の信頼に応えるべく、活発な議論と政策提案を通じて、開かれた議会運営を目指してまいります。



議長
加藤真道

副議長挨拶

この度、節目となる第100代副議長に就任いたしました土田弘之宣です。

副議長という重責に身が引き締まる思いです。

加藤議長を支え、市民の皆様の負託に応えるべく、公平・公正な議会運営に全力で努め、市民に開かれた議会を目指し、議会改革にも積極的に取り組んでまいります。

横須賀市が直面する諸課題に、議員一同、力を合わせ難局を乗り越えてまいります。引き続き、横須賀市議会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長
土田弘之宣

その他の議会内役職者

●監査委員 南まさみ、加藤ゆうすけ

●神奈川県内広域水道企業団議会議員 渡辺光一

●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 堀りょういち

議会運営委員会

令和7年5月12日現在

●委員長 渡辺光一

●副委員長 石山 満

池田徳重、大貫次郎、泉谷 翔、青木秀介、小林優人、堀りょういち、工藤昭四郎、二見英一、井坂 直(オブザーバー)

令和7年招集議会・6月定例議会

審議結果

○＝賛成、×＝反対、－＝欠席

賛否が分かれた議案	会派					無会派			
	自由民主党	未来会議	よこすか	公明党	日本共産党	日本維新の会	天白牧夫	葉山なおし	藤野英明
	14人	8人		7人	3人	2人			
令和7年度横須賀市一般会計補正予算(第1号)	○	○		○	×	○	×	○	○
三笠公園基盤施設設計建設業務(その2)請負契約の締結について	○	○		○	×	○	○	○	×
横須賀芸術劇場天井改修その他工事請負契約の変更契約締結について	○	○		○	○	○	○	○	×

※その他議案16件については、全会一致で可決、同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

請願・陳情

	件名	結果
請願	小中学校給食費の無償化について	不採択
	教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	採択 (意見書案提出)
陳情	従来の健康保険証の存続を求める意見書の提出について	審査終了
	訪問介護報酬引下げの撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	審査終了
	住宅の耐震補強工事補助における施工事業者の拡充及び市内事業者への研鑽の促進について	趣旨不了承
	横須賀中央駅周辺自転車等放置禁止区域の追加指定について	趣旨了承

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

意見書

件名	結果
教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可決 (全会一致)
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決 (賛成多数)

編集後記

今号より、令和7年度広報広聴会議の新メンバーで、市議会だよりを作成しました。市議会の活動や議論の内容など、市民の皆様に分かりやすくお伝えできるように取り組んでまいります。また議会への傍聴にも是非お越しください！



編集：広報広聴会議
(◎＝委員長、○＝副委員長)
◎川本 伸／○竹岡 力／
高橋いずみ／大貫次郎／
松岡和行／菅原恵美子／
堀りょういち／高橋英昭／
ふじそのあき／
ひろなか信太郎

会派所属議員名

令和7年6月13日現在

会派	議員名
自由民主党	南まさみ、青木秀介、青木哲正、田辺昭人
	松岡和行、加藤真道(議長)、大野忠之、渡辺光一
よこすか未来会議	伊関功滋、加藤ゆうすけ、工藤昭四郎、小林優人
	高橋英昭、竹岡 力、長谷川昇、堀りょういち
公明党	土田弘之宣、石山 満、関沢敏行、本石篤志
日本共産党	二見英一、川本 伸、菅原恵美子
	大村洋子、井坂 直、ふじそのあき
日本維新の会	安川健人、ひろなか信太郎

令和7年9月定例議会の予定

開催日	会議名
8月29日(金)	議会運営委員会
9月1日(月)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
9月4日(木)	民生常任委員会(予算決算分科会)都市整備常任委員会(予算決算分科会)
9月8日(月)	総務常任委員会(予算決算分科会)環境教育常任委員会(予算決算分科会)
9月10日(水)	地域防災計画検証特別委員会
9月12日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
9月17日(水)	議会運営委員会
9月18日(木)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
9月24日(水)	予算決算分科会(民生、都市整備)
9月25日(木)	予算決算分科会(総務、環境教育)
9月26日(金)	予算決算分科会(民生、都市整備)
9月29日(月)	予算決算分科会(総務、環境教育)
10月3日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
10月7日(火)	議会運営委員会、本会議(14時)

9月2日(火)・5日(金)・9日(火)・11日(木)・16日(火)・19日(金)・30日(火)、10月1日(水)・6日(月)は予備日です。

インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)

時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。

傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。